

日陰でもよく育つヤツデ

< 植物名 >

ヤツデ
フアツシア

水やり

土の表面が乾いたら、たっぷり水やりをする。

置き場所

日陰や大気汚染に強い。直射日光が当たる乾燥した所は避ける。

用土肥料

腐植質に富む適湿地を好む。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

挿木または実生

冬越し

特記事項なし。

使い方 庭木

学名 **Fatsia japonica**

英名

属名 **ヤツデ**

科名 **ウコギ**

性状(分類) **常緑低木**

原産地 **本州～沖縄、台湾**

花の色 **白**

開花期 **10～11月**

購入時期

草丈 **3～5m**

ID **848**

季節 **秋**

JFコード **19110**



冬越しと置き場所

日陰や大気汚染に強いことから、北側や中庭の植栽に適している。直射日光が当たる乾燥した所は避ける。

その他の解説

腐植質に富む適湿地を好む。用途は庭木。増殖は挿木または実生による。

特徴1

てのひらを広げたような大きな葉をもつ常緑低木。日陰や大気汚染に強いが直射日光が当たる乾燥した所は避ける。

特徴2

日本と台湾に3種が分布する、半耐寒性の常緑低木。暖地の沿海地に自生する。てのひらを広げたような大きな葉で、長さ、幅とも20～40cmもあり、7～9片に深裂している。10～11月ごろ、茎の先に直径2～3cmほどの散形花序をつける。日陰でもよく育つため、庭木として欠かせない木の一つ。